



問 学校教育の現状と今後の対応について

答 さまざまな課題を、県と連携し、教育の更なる充実に努めたい

2020年度に、今の中学3年生から受ける「大学入学共通テスト」が始まり、記述式の導入など思考力、判断力、表現力が問われる。教職員が教務に集中できる対応を問います。

問 教職員の長時間労働は。

教育次長 教員の出勤簿で時間管理、時間外労働の上限規制は特段設けていない。

問 全国学力調査*の結果は。

教育次長 小学校は、全国平均以上。中学校は、国語Bに課題があるが、国語A、数学A・Bは全国レベル。

問 現状と今後の施策は。

町長 町単独の予算で、教育活動の指導員として各学校に2名、3校で6名、介助員を3名配置している。

教育長 基礎的な知識を問うA問題に比べ、応用力を測るB問題が課題。子どもたちが納得し理解でき、興味・関心を持って課題に取り組んで解決することで真の力がつく。そこから、思考力、判断力、表現力はついていく。

※A問題：身につけておくべき基礎的な知識を問う問題
B問題：基礎的な知識を用いて、考えをまとめる力や判断の理由を説明する力を問う問題

学校にタイムカードを導入している教育委員会	
都道府県	市町村
12.8%	8.1%
現在、五霞町では導入していない	

2015年の法定労働時間 (経済協力開発機構)	
日本の公立学校教員	加盟国の平均
1,891時間(年間)	200時間以上少ない
但し、授業にあてる割合は加盟国最低レベル	

問 人口減少対策としての定住化策について

答 市街化区域の既存ストックを利用、空き家対策等で進めていく

移り住んでもらうには、市街化地域の再開発では、未利用地への建築促進、空き家登録制度の創設、公園緑地や街路樹の保全、戸建て住宅の維持管理の促進、住民活動の支援等が言われる。五霞町をPRするまちづくりを問います。

問 提供できる土地は。

政策財務課長 ①市街化区域の住宅インフラをベースに、空き

家、空き地等を利活用。②中長期的には市街化調整区域に、都市計画法・農振法・農地法等の調整を前提に検討。

問 住環境の整備は。

都市建設課長 公園の除草、樹木の剪定、清掃及び附帯設備の修繕。公園遊具は年1回専門業者による点検、劣化したものは撤去や修繕。街路樹は定期的に剪定や害虫消毒。歩道などは適

宜修繕。

生活安全課長 町内の防犯灯を一斉にLED化するための導入調査、計画策定を予定している。



空き家 (昨年11月実施の意向調査)	
空き家	売りたい、貸したい
84件	17件
17件は、あくまで本人の意向の件数	

五霞町の街灯、防犯灯	
街灯	防犯灯
53灯	723灯
防犯灯のうち78灯はLED化済	